

## 保育所・認定こども園・幼稚園をとりまく現状と課題について

### 1 これまでの経緯

#### (1) 幼稚園をとりまく課題についての検討委員会の検討結果（報告書）

平成30年5月23日に開催された「第1回砺波市子ども・子育て会議」において「幼稚園をとりまく課題について」検討委員会から報告があり、子ども・子育て会議として了承されました。

小学校就学前までに育つことが期待される「生きる力の基礎となる心情、意欲、態度を育てる環境を整える」ことが最も重要と考え、園児数が少なすぎる、多すぎることで生じるデメリットに十分に配慮し、「子どもの発達を十分に保障する環境づくり」に取り組む。

##### 【検討結果報告書】

- 中野幼稚園は、太田幼稚園と統合する
- 梅檀野幼稚園は、般若幼稚園と統合する
- 高波幼稚園は、他の3つの幼稚園に比べ少なすぎるとは言えず、また、北部幼稚園と統合した場合、統合後の園児数が多すぎることから、当分の間、現状のままとする

#### (2) 保育所をとりまく現状と課題について

平成30年11月27日に開催された「第2回砺波市子ども・子育て会議」において、保育所についても子どもの発達を十分に保障する環境が必要であるとの意見があったことから「保育所をとりまく現状と課題について」資料提供しました。

現状と課題について、保育所、認定こども園及び幼稚園を含めた砺波市全体で検討していく。

検討するワーキンググループを設ける前に、市において、保育所について判断基準のたたき台を作成し、議論を深める。

### 2 砺波市内の施設について

#### (1) 施設種類別

砺波市には、保育所、認定こども園及び幼稚園と、様々なタイプの保育施設や教育施設が設置されています。

##### ア 保育所…10施設

公私区分	施設名
公立 7施設	鷹栖保育所、庄下保育所、東部保育所 東山見保育所、青島保育所、雄神保育所、種田保育所
私立 3施設	東般若保育園、ちゅうりっぷ保育園、あぶらでん保育園

### イ 認定こども園…5施設

公私区分	施設名
公立 4施設	出町認定こども園、南部認定こども園 北部認定こども園、太田認定こども園
私立 1施設	出町青葉幼稚園

### ウ 幼稚園…4施設

公私区分	施設名
公立 4施設	中野幼稚園、高波幼稚園、般若幼稚園、梅檀野幼稚園

※中野幼稚園、梅檀野幼稚園は令和2年3月末に閉園予定

## (2) 小学校区別

砺波市の各小学校区には、少なくとも1か所以上の保育施設（保育所や認定こども園）が設置されています。

小学校区	施設名
出町小学校区	ちゅうりっぷ保育園、出町認定こども園、出町青葉幼稚園
庄南小学校区	庄下保育所（庄下地区大門）、太田認定こども園、中野幼稚園
砺波東部小学校区	庄下保育所（庄下地区大門を除く）、東部保育所、あぶらでん保育園
砺波南部小学校区	南部認定こども園
砺波北部小学校区	北部認定こども園、高波幼稚園
庄東小学校区	東般若保育園、般若幼稚園、梅檀野幼稚園
鷹栖小学校区	鷹栖保育所
庄川小学校区	東山見保育所、青島保育所、雄神保育所、種田保育所

※中野幼稚園、梅檀野幼稚園は令和2年3月末に閉園予定

## 3 保育所、認定こども園及び幼稚園の違いについて

### (1) 入園条件

<div style="text-align: center; background-color: #0070C0; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px;"> <b>保育所</b> 0~5さい         </div>  <p style="color: red; font-weight: bold;">就労などのため家庭で保育のできない保護者に代わって保育する施設</p> <p>入園条件：保護者が働いている等の理由が必要</p>	<div style="text-align: center; background-color: #FFD700; color: black; padding: 5px; border-radius: 10px;"> <b>幼稚園</b> 3~5さい         </div>  <p style="color: red; font-weight: bold;">幼児期の教育を行う学校</p> <p>入園条件：なし（保護者の状況を問わない）</p>
--	---

保育と教育を一体的に行う施設（保育所と幼稚園の機能をあわせ持つ施設）

0～2歳

保育所タイプ 入園条件：保護者が働いている等の理由が必要  
 幼稚園タイプ なし

3～5歳

保育所タイプ 入園条件：保護者が働いている等の理由が必要  
 幼稚園タイプ 入園条件：なし（保護者の状況を問わない）



(2) 従うべきガイドライン

施設種類	ガイドライン名
保育所	保育所保育指針
幼保連携型認定こども園	幼保連携型認定こども園教育・保育要領
幼稚園	幼稚園教育要領

ガイドライン名	ねらいや内容（抜粋）
保育所保育指針	第3章 保育の内容 …実際の保育においては、養護と教育が一体となって展開されることに留意することが必要である。ここにいう「養護」とは、子どもの生命の保持及び情緒の安定を図るために保育士等が行う援助や関わりである。また、「教育」とは、子どもが健やかに成長し、その活動がより豊かに展開されるための発達の援助であり、「健康」、「人間関係」、「環境」、「言葉」及び「表現」の5領域から構成される。…
幼保連携型認定こども園教育・保育要領	第2章 ねらい及び内容並びに配慮事項 …これらを園児の発達の側面から、心身の健康に関する領域「健康」、人とのかかわりに関する領域「人間関係」、身近な環境とのかかわりに関する領域「環境」、言葉の獲得に関する領域「言葉」及び感性と表現に関する領域「表現」としてまとめ、示したものである。…
幼稚園教育要領	第2章 ねらい及び内容 …これらを幼児の発達の側面から、心身の健康に関する領域「健康」、人とのかかわりに関する領域「人間関係」、身近な環境とのかかわりに関する領域「環境」、言葉の獲得に関する領域「言葉」及び感性と表現に関する領域「表現」としてまとめ、示したものである。…

- ・ガイドラインは異なりますが、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」は、「保育所保育指針」と「幼稚園教育要領」との整合性の確保並びに小学校における教育との円滑な接続に配慮して定めることとされています。

保育所、認定こども園及び幼稚園の修了までに育つことが期待される生きる力の基礎となる心情、意欲、態度を指導するための事項が「5領域」として定められており、各ガイドラインのねらいや内容はほぼ同じ。



#### 4 保育所、認定こども園及び幼稚園の申込状況について

##### (1) 保育所、認定こども園及び幼稚園の入園状況について

※R2.3.1の入園予定人数

##### ア 保育所

	施設名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
公立	鷹栖保育所	8	15	16	22	18	26	105
	庄下保育所	8	15	18	18	17	20	96
	東部保育所	9	13	17	20	33	24	116
	東山見保育所	3	5	6	9	8	8	39
	青島保育所	5	10	9	11	16	12	63
	雄神保育所	2	4	0	7	3	6	22
	種田保育所	3	5	6	8	4	7	33
私立	東般若保育園	7	13	12	17	16	18	83
	ちゅうりっぷ保育園	16	23	22	20	24	24	129
	あぶらでん保育園	24	30	30	32	40	33	189
	合計	85	133	136	164	179	178	875

##### イ 認定こども園

	施設名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
公立	出町認定こども園	20	30	33	53	50	51	237
	南部認定こども園	12	18	24	32	31	31	148
	北部認定こども園	12	29	33	52	45	51	222
	太田認定こども園	11	18	16	29	21	26	121
私	出町青葉幼稚園			6	16	16	14	52
	合計	55	95	112	182	163	173	780

## ウ 幼稚園

施設名		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
公立	中野幼稚園				0	0	8	8
	高波幼稚園				3	6	9	18
	般若幼稚園				4	4	7	15
	梅檀野幼稚園				1	3	3	7
合計					8	13	27	48

## エ 合計（ア+イ+ウ）

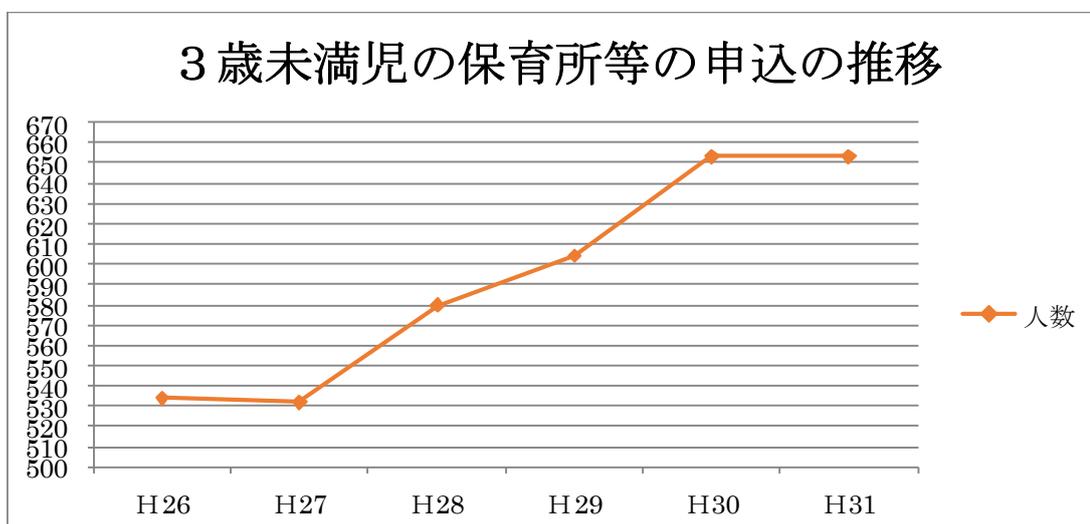
施設名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
保育所	85	133	136	164	179	178	875
認定こども園	55	95	112	182	163	173	780
幼稚園				8	13	27	48
合計	140	228	248	354	355	378	1,703

・申込みが著しく増えており、  
「利用調整」を実施している状況

・定員に対して余裕がある状況

### (2) 申込状況について

- ・砺波市では、①安心して育児休業を取得できるようにするため、②入所希望月による入園の難易度をなくすため 毎年10月に翌年度1年間の入所申込の受付を実施しています。
- ・近年、3歳未満児の申込みが著しく増えており、優先順位（兄弟で同じ施設へ、地域性を重視など）をつけながら、できるだけ保護者が希望する保育所等に入園できるように「利用調整」を実施しています。



3歳未満児・・・申込みが著しく増えており「利用調整」を実施  
 入園希望が特定の施設へ偏ることが多く、地域性を保てないという課題があります。

3歳以上児・・・定員に対して余裕がある状況  
 出町認定こども園及び北部認定こども園の余裕は若干程度

0～2歳児と3～5歳児の入園状況は異なるため、保育所・認定こども園・幼稚園をとりまく現状と課題について考える場合、0～2歳児と3～5歳児は分けて考える必要があります。

## 5 1クラス当たりの子どもの人数について（国の基準）

保育所、認定こども園及び幼稚園について、1クラス当たりの子どもの数や、保育士等1人が受け持つことができる子どもの人数は、以下のとおり国の基準で定められています。

### （1）保育所における基準

#### ■児童福祉施設の設備及び運営に関する基準（厚生労働省令）

年齢	単位	人数
0歳	保育士1人当たり	3人
1～2歳		6人
3歳		20人
4～5歳		30人

### （2）認定こども園における基準

#### ■幼保連携型認定こども園の学級の編成、職員、設備及び運営に関する基準（内閣府・文部科学省・厚生労働省令）

年齢	単位	人数
0歳	保育教諭1人当たり	3人
1～2歳		6人
3歳		20人
4～5歳		30人

### （3）幼稚園における基準

#### ■幼稚園設置基準（文部科学省令）

年齢	単位	人数
3～5歳	1クラス当たり	35人以下

## 6 1クラス当たりの適正な子どもの人数について

保育所、認定こども園及び幼稚園は、1クラス当たりの子どもの数や、保育士等1人が受け持つことができる子どもの人数は国基準で定められています。



1クラス当たりの最小の子どもの人数や、適正な子どもの人数は定められていません。

### (1) 砺波市内の保育士、保育教諭及び幼稚園教諭等を対象にしたアンケート

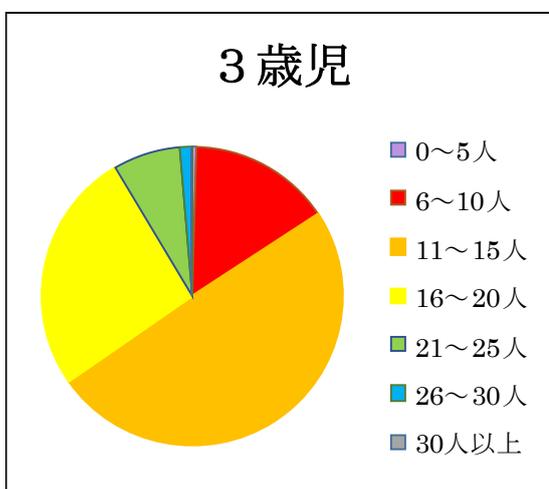
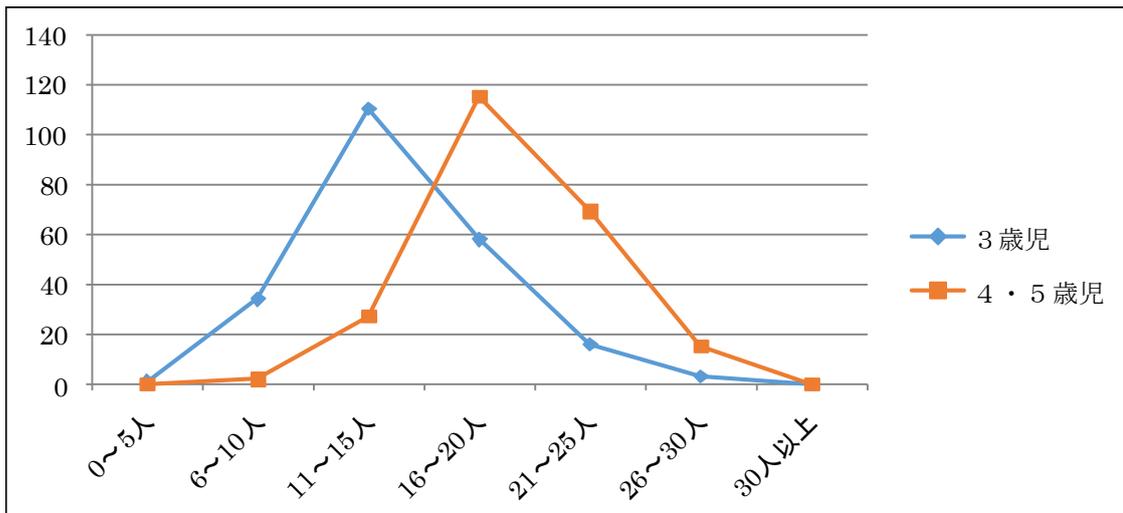
それぞれの施設において子どもと関わっている保育士、保育教諭及び幼稚園教諭等を対象に、「1クラス当たりの子どもの人数」について、「適正」、「少なすぎる」、「多すぎる」子どもの人数についてアンケートを実施し、どう考え、どう感じているのかを調査しました。

#### ア アンケートについて

項目	内容・結果
回答者	市内公立及び私立の保育所、認定こども園及び幼稚園に勤務する園長、保育士、保育教諭及び幼稚園教諭 ※回答者は、勤務時間等の条件を揃えるため正職員に限る
回答人数	163人
回答者の通算経験年数	平均 12.56年
上記のうち3歳以上児の通算経験年数	平均 7.70年
質問項目	3歳児、4・5歳児それぞれについて ・1クラス当たりの「適正」と思う子どもの人数 ・1クラス当たりの「少なすぎる」と思う子どもの人数 ・1クラス当たりの「多すぎる」と思う子どもの人数

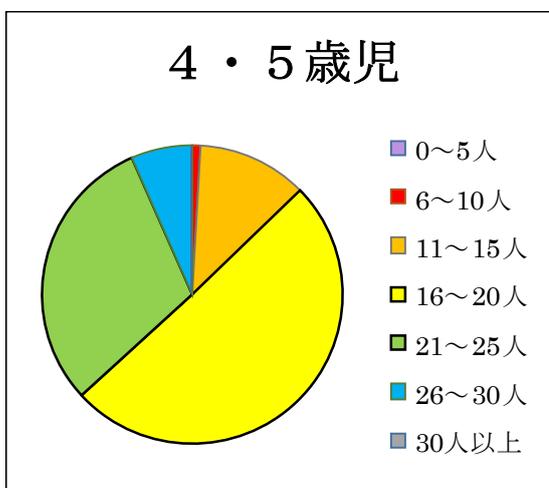
#### イ アンケート結果について

■ 1クラス当たりの「適正」と思う子どもの人数（複数回答あり）



項目	人数	割合
0~5人	1	0.5%
6~10人	34	15.3%
11~15人	110	49.5%
16~20人	58	26.1%
21~25人	16	7.2%
26~30人	3	1.4%
30人以上	0	0.0%
合計	222	100.0%

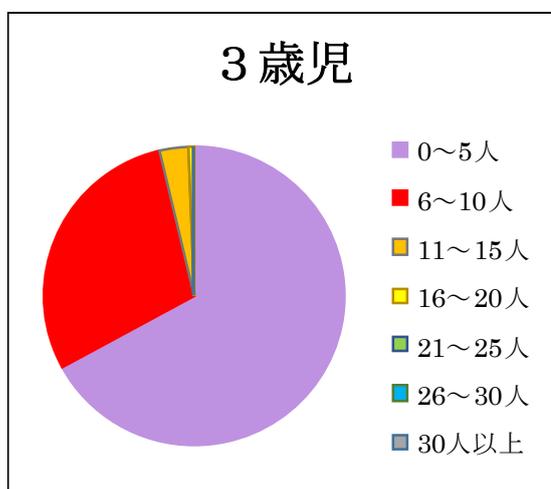
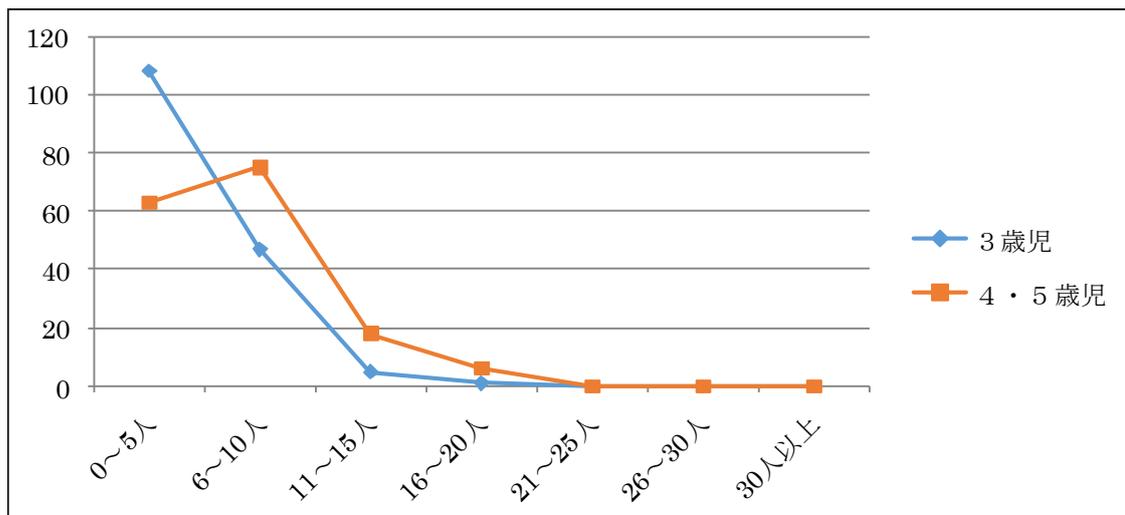
・11~15人・16~20人を併せて・・・75.6%



項目	人数	割合
0~5人	0	0.0%
6~10人	2	0.9%
11~15人	27	11.8%
16~20人	115	50.4%
21~25人	69	30.3%
26~30人	15	6.6%
30人以上	0	0.0%
合計	228	100.0%

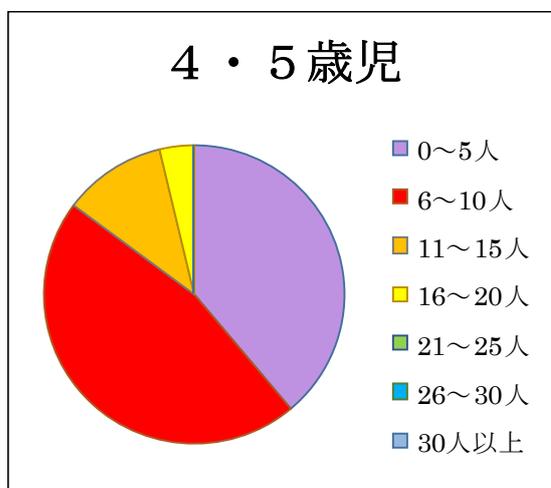
・16~20人・21~25人を併せて・・・80.7% 11~15人も併せると92.5%

■ 1クラス当たりの「少なすぎる」と思う子どもの人数



項目	人数	割合
0~5人	108	67.1%
6~10人	47	29.2%
11~15人	5	3.1%
16~20人	1	0.6%
21~25人	0	0.0%
26~30人	0	0.0%
30人以上	0	0.0%
合計	161	100.0%

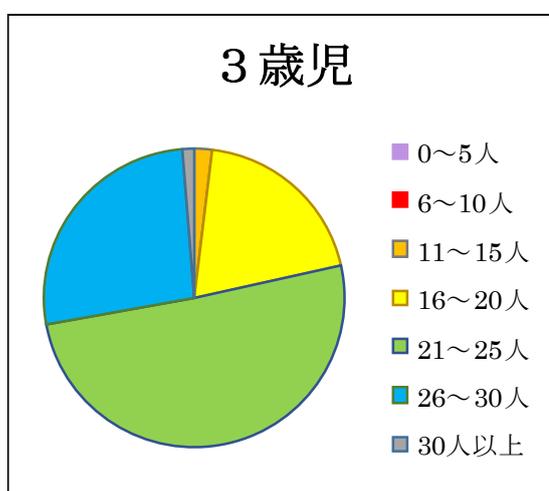
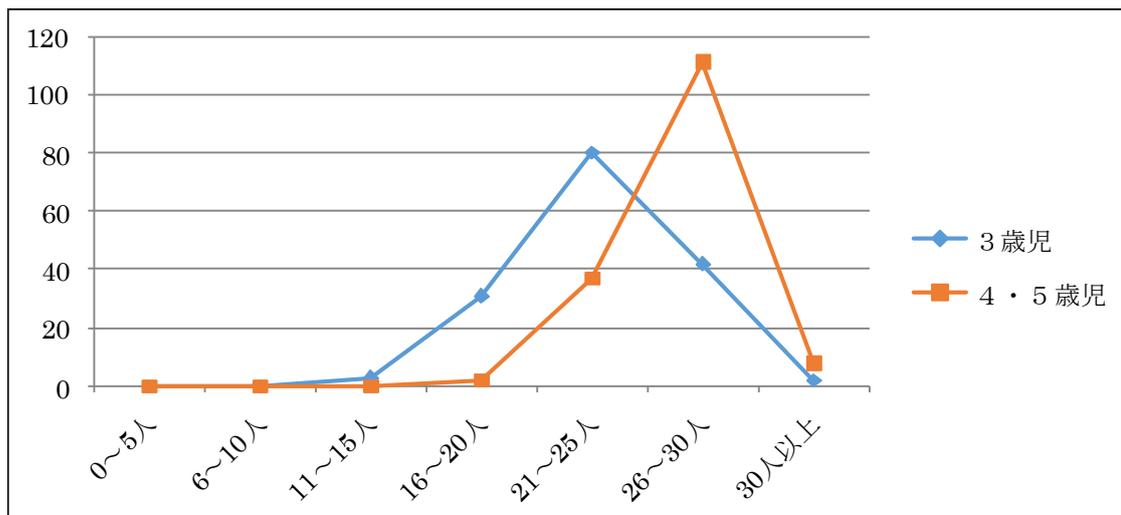
・0~5人・6~10人を併せて・・・96.3%



項目	人数	割合
0~5人	63	38.9%
6~10人	75	46.3%
11~15人	18	11.1%
16~20人	6	3.7%
21~25人	0	0.0%
26~30人	0	0.0%
30人以上	0	0.0%
合計	162	100.0%

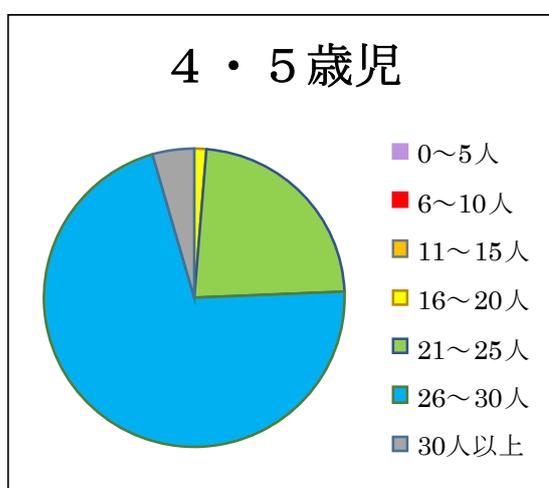
・0~5人・6~10人を併せて・・・85.2%

■ 1クラス当たりの「多すぎる」と思う子どもの人数



項目	人数	割合
0～5人	0	0.0%
6～10人	0	0.0%
11～15人	3	1.9%
16～20人	31	19.6%
21～25人	80	50.6%
26～30人	42	26.6%
30人以上	2	1.3%
合計	158	100.0%

・21～25人・26～30人を併せて・・・77.2%



項目	人数	割合
0～5人	0	0.0%
6～10人	0	0.0%
11～15人	0	0.0%
16～20人	2	1.3%
21～25人	36	23.1%
26～30人	111	71.1%
30人以上	7	4.5%
合計	156	100.0%

・26～30人・・・71.1%

## ウ アンケート結果より

アンケート結果から、次のように読み取れます。

1クラス当たりの「適正」と思う子どもの人数  
 3歳児は概ね11～20人 4・5歳児は概ね16～25人

3歳児	4・5歳児
0～5人	0～5人
6～10人	6～10人
11～15人	11～15人
16～20人	16～20人
21～25人	21～25人
26～30人	26～30人
30人以上	30人以上

ただし、4・5歳児の1クラス当たりの子どもの人数のうち、「11～15人」について、  
 「適正」と考える保育士等・・・11.8%  
 「少なすぎる」と考える保育士等・・・11.1%  
 と、同じ位の比率があります。

また、「適正」と考える保育士等が「11～15人」を「適正」と考えた理由として、  
 ・基本的な生活習慣を確立させるため  
 ・生活経験に差があるため  
 などの意見がありました。

このことから、以下のとおりとしました。

1クラス当たりの「適正」と思う子どもの人数  
 3歳児は概ね11～20人 4・5歳児は概ね11～25人  
 ※11～15人を「適正」と思う子どもの人数に含める

また、

1クラス当たりの「少なすぎる」と思う子どもの人数  
 3歳児は概ね0～10人以下 4・5歳児は概ね0～10人以下

1クラス当たりの「多すぎる」と思う子どもの人数  
 3歳児は概ね21～25人以上 4・5歳児は概ね26～30人以上

## (2) 調査・研究

1クラス当たりの適正な子どもの数についての調査・研究があり、参考としました。

### ア 調査・研究結果について

#### ■ 1クラス当たりの保育適正人数について

研究者名	調査対象者	3歳	4歳	5歳
個人研究者A (2009年)	公立保育所保育士	13～18	19～24	19～24人
	私立保育所保育士	13～18	19～24	19～24人
	※調査対象者が適正であると回答した人数			

研究者名	調査対象者	3歳	4歳	5歳	
個人研究者B (2008年)	保育所保育士勤続 1～5年	18.4	23.1	23.4	
	保育所保育士勤続 6～15年	20.8	21.8	22.1	
	保育所保育士勤続 16年以上	15.0	20.7	22.0	
	幼稚園教諭 1～5年	16.5	23.1	25.2	
	幼稚園教諭 6～15年	20.8	22.7	26.2	
	幼稚園教諭 16年以上	15.0	25.3	24.8	
	※調査対象者が適正として回答した人数の平均値				
個人研究者B (2007年)	保育所保育士 (公立・私立)	18.1	22.1	21.1	
	公立保育所保育士	15.7	21.2	21.3	
	私立保育所保育士	20.8	23.2	22.3	
	公立保育所保育士	15.7	21.2	21.3	
	私立保育所保育士	20.8	23.2	22.3	
	幼稚園教諭 (公立・私立)	18.8	22.4	25.4	
	公立幼稚園教諭	16.9	22.0	24.9	
	私立幼稚園教諭	23.8	24.0	26.6	
※調査対象者が適正として回答した人数の平均値					
日本保育学会 (1986年)	公立保育所保育士	クラス全員の幼児を掌握し無理なく動かすことが可能な人数	19.5		
		幼児が個々に行う活動で指導可能な人数	15.0		
		クラス全員が一緒に行う活動で指導可能な人数	19.7		
		生活習慣を身につけさせる指導が可能な人数	18.1		
		自由遊びの指導可能な人数	18.6		
		遊びに活気がでてくる人数	20.6		
		公立幼稚園幼稚園教諭	クラス全員の幼児を掌握し無理なく動かすことが可能な人数	24.2	
	幼児が個々に行う活動で指導可能な人数		19.7		
	クラス全員が一緒に行う活動で指導可能な人数		25.2		
	生活習慣を身につけさせる指導が可能な人数		23.2		
	自由遊びの指導可能な人数		22.8		
	遊びに活気がでてくる人数		29.6		
	※調査対象者が適正として回答した人数の平均値				

研究者名	調査対象者	3歳	4歳	5歳
全国幼稚園教育 研究協議会 (1984年)	幼稚園教諭	15以下	21～25	26～30

出典…保育科学研究 第1巻(2010年度) 「保育の質の評価に関する研究」P16～17より

※「保育科学研究」は、社会福祉法人日本保育協会保育科学研究所の平成22年度の研究成果をまとめて刊行されたもの。

## イ 調査・研究結果より

調査・研究結果から、次のように読み取れます。

②

1クラス当たりの「適正」と思う子どもの人数・・・②

3歳児は概ね15～20人 4・5歳児は概ね20～30人

### (3) 考察 ①と②について

①のアンケート結果からの考察と、②の調査・研究結果の考察は概ね一致すると言えます。

このことから、保育士、保育教諭及び幼稚園教諭を対象にした「1クラス当たりの子どもの人数」について「適正」、「少なすぎる」、「多すぎる」かのアンケートの結果は概ね近い数値を示していると言えます。

### (4) その他の意見

#### ア 小幡委員(地区自治振興会協議会、子ども・子育て会議副会長)

南部認定こども園は、砺波南部小学校区外の保育所等への預け入れにより五鹿屋幼稚園及び東野尻幼稚園の園児数が減少していることから、2つの幼稚園を統合し、当該小学校区に保育所機能を有する施設を整備することを基本として検討され、平成29年4月に設置されました。

小幡委員は、五鹿屋幼稚園が所在した五鹿屋地区の自治振興会長であり、また、南部認定こども園の設置に当たっては建設検討委員会委員長として様々な事案に対応されています。

- ・五鹿屋幼稚園の人数が少なかった時は、地域行事を行うのも困ったし、様子を見ていて、子どもがかわいそうだった。
- ・地区内の施設であった五鹿屋幼稚園から小学校区内の施設の南部認定こども園となったことで、地区が主導する関わりから施設が主導する関わりとなった。これまでと比べ地区と施設との関わりは希薄になっていくが、その分、地区の行事に集中して力をかけ、地域の子ども達にも積極的に参加してもらっており、施設が関わらなくても地域行事は成り立っている。
- ・子どもが多い方が活気があって良い。1クラス10人は必要ではないか。
- ・小学校区で一つにしていくことは砺波南部小学校区がしっかりと成り立っていることから、賛成。

## イ 小倉委員（幼稚園PTA連絡協議会）

小倉委員は、南部認定こども園の前PTA会長。東野尻幼稚園（南部認定こども園設置前の施設）及び南部認定こども園の二つの施設においてPTA活動をされています。

- ・南部認定こども園ができて本当に良かった。
- ・保育の専門家ではないから正しいかわからないが、1クラス12人は必要だと思う。10人だと2グループに分けた際に1グループ5人になる。5人では少ない。
- ・次男が年中になる時の平成29年に東野尻幼稚園から南部認定こども園に統合した。東野尻幼稚園の時の次男の学年の人数は15人だったが、南部認定こども園になって人数が倍くらいに増えた。  
親も子どもも学年の人数が増えて、行事が楽しくなった、保護者の繋がりが増えた、友達が増えたと、楽しく前向きな環境になり、とても喜んでいる。
- ・長男は東野尻幼稚園を卒園したが、小学校入学時に東野尻幼稚園出身の子どもは学年の4分の1くらいだったため、親も子どもも、しばらくの間は戸惑った。

## 7 保育所、認定こども園及び幼稚園の入園状況について（再掲）

「1クラス当たりの少なすぎると思う子どもの人数」に該当する施設を赤色塗り、  
「1クラス当たりの多すぎると思う子どもの人数」に該当する施設を青色塗りしました。  
また、該当する年齢の人数を太字にしました。

※人数が「多すぎる」人数に該当するが青色塗りされていない場合は、複数クラスにより  
「1クラス当たりの多すぎると思う子どもの人数」には該当していません。

### ア 保育所

	施設名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
公立	鷹栖保育所	8	15	16	<b>22</b>	18	<b>26</b>	105
	庄下保育所	8	15	18	18	17	20	96
	東部保育所	9	13	17	20	33	24	116
	東山見保育所	3	5	6	<b>9</b>	<b>8</b>	<b>8</b>	39
	青島保育所	5	10	9	11	16	12	63
	雄神保育所	2	4	0	<b>7</b>	<b>3</b>	<b>6</b>	22
	種田保育所	3	5	6	<b>8</b>	<b>4</b>	<b>7</b>	33
私立	東般若保育園	7	13	12	17	16	18	83
	ちゅうりっぷ保育園	16	23	22	20	24	24	129
	あぶらでん保育園	24	30	30	<b>32</b>	<b>40</b>	<b>33</b>	189
	合計	85	133	136	164	179	178	875

## イ 認定こども園

	施設名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
公立	出町認定こども園	20	30	33	53	50	51	237
	南部認定こども園	12	18	24	32	31	31	148
	北部認定こども園	12	29	33	52	45	51	222
	太田認定こども園	11	18	16	29	21	26	121
私	出町青葉幼稚園			6	16	16	14	52
	合計	55	95	112	182	163	173	780

## ウ 幼稚園

	施設名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
公立	中野幼稚園				0	0	8	8
	高波幼稚園				3	6	9	18
	般若幼稚園				4	4	7	15
	梅檀野幼稚園				1	3	3	7
	合計				8	13	27	48

## 8 小学校区毎の状況

### (1) 出町小学校区

ア 11歳以下（小学校6年生）の人口の状況（H31.3.31）について

地区	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳
出町地区	83	89	83	72	79	81	94	84	72	85	76	87
合計	83	89	83	72	79	81	94	84	72	85	76	87

イ 令和元年度の入園状況（R2.3.1予定）について

施設名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	利用定員
ちゅうりっぷ保育園	16	23	22	20	24	24	129	120
出町認定こども園	20	30	33	53	50	51	237	270
出町青葉幼稚園			6	16	16	14	52	55
合計	36	53	61	89	90	89	418	445

## (2) 庄南小学校区

ア 11歳以下（小学校6年生）の人口の状況（H31.3.31）について

年度	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳
庄下地区 (大門)	4	3	7	1	5	7	6	2	2	5	4	6
中野地区	7	11	13	15	14	20	15	18	23	15	18	19
太田地区	11	12	10	13	7	10	8	10	15	9	14	14
合計	22	26	30	29	26	37	29	30	40	29	36	39

イ 令和元年度の入園状況（R2.3.1予定）について

施設名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	利用定員
太田認定こども園	11	18	16	29	21	26	121	165
中野幼稚園				0	0	8	8	60
合計	11	18	16	29	21	34	129	225

## (3) 砺波東部小学校区

ア 11歳以下（小学校6年生）の人口の状況（H31.3.31）について

地区	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳
庄下地区 (大門を除く)	15	12	16	23	12	17	21	15	18	18	11	17
油田地区	33	40	38	33	39	36	34	44	39	30	37	58
南般若地区	9	16	13	17	25	18	24	29	34	35	35	39
柳瀬地区	15	11	18	14	15	17	15	22	21	29	28	30
合計	72	79	85	87	91	88	94	110	112	112	111	144

イ 令和元年度の入園状況（R2.3.1予定）について

施設名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	R元 利用定員
庄下保育所	8	15	18	18	17	20	96	130
東部保育所	9	13	17	20	33	24	116	160
あぶらでん保育園	24	30	30	32	40	33	189	200
合計	41	58	65	70	90	77	401	490

(4) 砺波南部小学校区

ア 11歳以下(小学校6年生)の人口の状況(H31.3.31)について

年度	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳
五鹿屋地区	11	13	15	16	22	23	25	18	21	21	23	23
東野尻地区	18	14	7	18	11	11	16	14	21	13	18	24
合計	29	27	22	34	33	34	31	32	42	34	41	47

イ 令和元年度の入園状況(R2.3.1予定)について

施設名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	利用定員
南部認定こども園	12	18	24	32	31	31	148	195
合計	12	18	24	32	31	31	148	195

(5) 砺波北部小学校区

ア 11歳以下(小学校6年生)の人口の状況(H31.3.31)について

地区	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳
若林地区	3	4	4	7	5	5	3	7	5	4	8	6
林地区	34	44	50	59	58	50	46	47	44	36	52	49
高波地区	1	7	5	4	8	10	6	13	8	15	17	14
合計	38	55	59	70	71	65	55	67	57	55	77	69

イ 令和元年度の入園状況(R2.3.1予定)について

施設名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	利用定員
北部認定こども園	12	29	33	52	45	51	222	265
高波幼稚園				3	6	9	18	60
合計	12	29	33	55	51	60	240	325

ウ 高波幼稚園の入園状況(各年度4.1現在)について

年度	合計	前年比	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
平成25年度	31	—				9	5	9
平成26年度	28	▲3				6	9	6
平成27年度	28	0				7	6	9
平成28年度	21	▲7				2	7	6
平成29年度	26	5				7	2	7
平成30年度	20	▲6				6	9	5
令和元年度	18	▲2				3	6	9

(6) 庄東小学校区

ア 11歳以下（小学校6年生）の人口の状況（H31.3.31）について

地区	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳
般若地区	9	6	6	5	6	9	10	9	12	15	9	17
東般若地区	9	9	10	10	12	12	11	21	17	16	10	12
梅檀野地区	4	3	5	9	3	7	6	9	8	7	6	5
梅檀山地区	1	1	0	2	2	0	3	5	2	3	3	1
合計	23	19	21	26	23	28	30	44	39	41	28	35

イ 令和元年度の入園状況（R2.3.1予定）について

施設名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	利用定員
東般若保育園	7	13	12	17	16	18	83	80
般若幼稚園				4	4	7	15	90
梅檀野幼稚園				1	3	3	7	60
合計	7	13	12	22	23	28	105	230

ウ 般若幼稚園の入園状況（各年度4.1現在）について

年度	合計	前年比	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
平成25年度	24	—				9	4	11
平成26年度	26	2				11	12	3
平成27年度	31	5				8	11	12
平成28年度	24	▲7				5	8	11
平成29年度	21	▲3				7	6	8
平成30年度	16	▲5				3	7	6
令和元年度	15	▲1				4	4	7

※各年度4月1日現在

(7) 鷹栖小学校区

ア 11歳以下（小学校6年生）の人口の状況（H31.3.31）について

地区	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳
鷹栖地区	9	23	18	21	17	26	24	24	26	25	29	29
合計	9	23	18	21	17	26	24	24	26	25	29	29

イ 令和元年度の入園状況（R2.3.1予定）について

施設名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	利用定員
鷹栖保育所	8	15	16	22	18	26	105	140
合計	8	15	16	22	18	26	105	140

(8) 庄川小学校区

ア 11歳以下（小学校6年生）の人口の状況（H31.3.31）について

地区	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳
東山見地区	4	5	6	8	7	9	13	13	12	8	13	20
青島地区	8	12	8	12	15	10	13	14	16	7	15	15
雄神地区	1	5	0	7	4	9	5	7	12	8	9	8
種田地区	4	5	6	7	4	5	5	7	6	10	10	7
合計	17	27	20	34	30	33	36	41	46	33	47	50

イ 令和元年度の入園状況（R2.3.1 予定）について

施設名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	利用定員
東山見保育所	3	5	6	9	8	8	39	100
青島保育所	5	10	9	11	16	12	63	90
雄神保育所	2	4	0	7	3	6	22	45
種田保育所	3	5	6	8	4	7	33	45
合計	13	24	21	35	31	33	157	280

ウー1 東山見保育所の入園状況（各年度4.1現在）について

年度	合計	前年比	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
平成25年度	54	—	0	5	10	8	12	19
平成26年度	50	▲4	2	3	12	13	9	11
平成27年度	47	▲3	0	4	8	12	14	9
平成28年度	54	7	2	4	9	14	11	14
平成29年度	48	▲6	0	5	6	10	16	11
平成30年度	47	▲1	1	4	10	8	10	14
令和元年度	36	▲11	0	5	6	9	8	8

ウー2 雄神保育所の入園状況（各年度4.1現在）について

年度	合計	前年比	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
平成25年度	35	—	0	3	10	5	8	9
平成26年度	35	0	0	3	4	14	6	8
平成27年度	38	3	1	4	5	8	14	6
平成28年度	35	▲3	0	5	5	5	8	12
平成29年度	26	▲9	0	3	3	7	5	8
平成30年度	20	▲6	0	0	4	4	7	5
令和元年度	20	0	0	4	0	7	3	6

ウー3 種田保育所の入園状況（各年度4.1現在）について

年度	合計	前年比	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
平成25年度	50	—	1	3	10	11	13	12
平成26年度	52	2	0	5	11	11	11	14
平成27年度	47	▲5	0	6	8	11	11	11
平成28年度	50	3	1	7	8	12	11	11
平成29年度	35	▲15	0	6	4	7	9	9
平成30年度	35	0	1	5	9	4	7	9
令和元年度	30	▲5	0	5	6	8	4	7

## 9 「子どもの発達を十分に保障する環境づくり」のための保育所の1クラス当たりの人数の基準について（まとめ）

砺波市内には、保育所、認定こども園及び幼稚園が合わせて19施設あり、各小学校区には少なくとも1か所以上の保育施設が設置されていますが、それぞれの入園状況や申込状況は異なっています。

また、3歳未満児と3歳以上児でも入園状況や申込状況は異なっていることから、「保育所・認定こども園・幼稚園の課題について」考える場合、分けて考える必要があります。

子どもは、小学校就学前までに「生きる力の基礎となる心情、意欲、態度」が育つことが期待されており、それを指導するための事項が「5領域」として、各ガイドラインのねらいや内容として定められています。

保育所、認定こども園及び幼稚園では、義務教育及びその後の教育の基礎を培うとともに、子どもの最善の利益を考慮しつつ、子どもを心身ともに健やかに育成することに努めることとされており、それは当然ながら3歳未満児から必要なことではありますが、特に3歳以上児について「子どもの発達を十分に保障する環境づくり」に取り組む必要があります。

「子どもの発達を十分に保障する環境づくり」のためには、各施設について、3歳以上児の1クラス当たりの人数を「適正」にする必要があると考え、1クラス当たりの「適正」な人数に「満たない」又は「超える」場合、1クラス当たりを「適正」な人数にするため、施設の再編について検討していく必要があります。

しかしながら、「超える」場合については「入園後の保育士等の増」や「利用調整」により超える状況の解消を図ることは可能と考えますが、「満たない」場合については「利用調整」により満たさない状況を解消することは、地域性のこともあり困難であると言えます。

このことから、特に、1クラス当たりの「適正」な人数に「満たない」場合を解消することを優先して、施設の再編について検討していく必要があります。

3歳以上児の1クラス当たりの「適正」な子どもの人数は、保育士、保育教諭及び幼稚園教諭の経験や、各種調査・研究結果、また、昨年度幼稚園をとりまく課題について4つの幼稚園について課題を整理し、今後の方向性について検討を進めた結果や意見等から

3歳児クラスは概ね11～20人

4・5歳児クラスは概ね11～25人

と考えられます。

